

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
東大阪市・大東市	東大阪市、大東市、東大阪都市清掃施設組合	平成 29 年度～令和 3 年度	平成 29 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成27年度)	目標 (割合※1) (令和4年度) A	実績 (割合※1) (令和4年度) B	実績/目標※2	
排出量	事業系 総排出量	108,997t	96,336t (-11.6%)	89,171t (-18.2%)	156.7%
	1 事業所当たりの排出量	3.04t	2.34t (-23.0%)	2.10t (-30.9%)	134.3%
	生活系 総排出量	130,914t	116,452t (-11.0%)	120,701t (-7.8%)	70.6%
	1 人当たりの排出量	195kg/人	173kg/人 (-11.3%)	183kg/人 (-6.2%)	54.5%
合 計 事業系生活系総排出量合計	239,891t	212,788t (-11.3%)	209,872t (-12.5%)	110.8%	
再生利用量	直接資源化量	15,529t (6.5%)	14,728t (6.9%)	11,088t (5.3%)	-265.5%
	総資源化量	40,314t (15.8%)	45,753t (19.7%)	30,217t (13.8%)	-50.8%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	18,606MWh	90,500MWh	94,212MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	40,083t (16.7%)	26,382t (12.4%)	29,796t (14.2%)	58.3%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理については地域計画対象外)

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	東大阪市	ごみ減量の促進や公平なごみ処理費用の負担を目的として、大型ごみ有料化の導入について検討。	平成 30 年度～令和 3 年度	平成 30 年度より有料化を実施。
			大東市	ごみの発生抑制や公平性の観点から、手数料改定を含めた有料化導入の検討。	期間中継続 (平成 29 年度～令和 3 年度)	令和 5 年 7 月より粗大ごみ収集の有料化導入予定。
	12	環境教育の普及啓発	東大阪市	多様なニーズに対応できる環境教育出前講座を作り上げ、幅広い年代の市民を対象として普及啓発に努める。また、地域イベントで、地域との協働で環境教育を推進。	期間中継続 (平成 29 年度～令和 3 年度)	平成 25 年度より、小中学生を対象に環境美化の推進をテーマにした ECO ポスターコンクールを実施している。また、出前講座を幅広い世代に活用してもらうため、メニューを整理及び拡充し、積極的に周知を行った。
			大東市	小・中学生や地域住民への出前講座、シニア環境大学などを充実させ、普及啓発に努める。	期間中継続 (平成 29 年度～令和 3 年度)	小・中学生や地域住民に対し環境教室を開催した開催回数は以下のとおり ・こども環境教室 (2 回、165 人) ・大人向け環境教室 (3 回)
	13	ごみに関する情報の提供	東大阪市	多様な広報媒体を活用してごみに関する情報を提供。また分別アプリの導入やチラシ等の多言語化により情報提供に係る取り組みを強化。	期間中継続 (平成 29 年度～令和 3 年度)	平成 30 年度より、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を導入し、分別意識の醸成を図った。また、分別チラシの多言語化に対応した。(英語・韓国語・中国語・ベトナム語)
			大東市			令和元年度よりごみ分別アプリを導入。多言語化による情報提供は検討中。
	14	ごみ減量化・資源化活動の広域的連携	大東市	市民・事業者・行政が一体となって企画や参加をすることによってごみ減量が実践できる、「買物袋持参」「もったいない」などをテーマとしたキャンペーンを実施。	未実施 (平成 29 年度～令和 3 年度)	新型コロナウイルスの蔓延によりだいたうクリーンウォーク&環境フェアが中止となったことにともないキャンペーンも未実施。
			東大阪市	東大阪ブロック・京阪奈北ごみ減量推進会議に参画し、レジ袋削減のほか、生ごみの水切りやマイボトル持参等、ごみ減量全般にわたる意見交換を通じて、広域的連携を強化。	期間中継続 (平成 29 年度～令和 3 年度)	毎年 1 回会議を開催し、各市のごみ減量全般にわたる意見交換を行い、広域的な連携を強化。
			大東市			東大阪ブロック・京阪奈北ごみ減量推進会議には参画したが、新型コロナウイルスの蔓延によりアンケート調査や啓発物の配布は未実施。

	15	地域と連携したごみ減量活動の推進	東大阪市	ごみ減量や分別排出への協力率向上を地域ごみ減量推進員及び協力員と連携して進めるため、環境部内に設置した地域班が推進員及び協力員に向けた説明会を実施。	期間中継続 (平成29年度～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・年に3回程度、市が地域ごみ減量推進員を集めた会議を開催し、連携を強化。 ・地域班が地域に出向きごみ減量にかかる説明会を実施。
	16	生ごみ堆肥化の普及・推進	東大阪市	家庭用生ごみ処理機購入補助事業を継続し、生ごみの減量・リサイクルを促進。	期間中継続 (平成29年度～令和3年度)	ごみ減量意識の普及、啓発に一定の役割を果たしたため、平成28年度末に事業終了。
大東市			家庭用生ごみ処理機購入補助事業を継続しており、令和3年度については14件交付した。			
	17	事業系ごみの減量推進	東大阪市	事業系一般廃棄物減量マニュアルを活用し、特定事業者及び小規模事業者に対して、ごみ減量・リサイクルに努めるよう周知啓発を行う。	期間中継続 (平成29年度～令和3年度)	令和2年度に、事業系ごみの分別マニュアルを作成し、市内事業者に対し周知啓発を行った。
		事業系ごみの減量指導の強化	大東市	1日平均100kg以上排出する多量排出事業者に対して、事業系一般廃棄物減量計画書の作成・提出を義務付けており、ごみ減量・リサイクルに努めるよう周知啓発を行う。		多量排出者に対し、事業系一般廃棄物減量計画書を作成・提出を依頼した。
処理体制の構築、変更に関するもの	21	事業系一般廃棄物の排出事業者の処理計画策定	東大阪市	多量排出事業者に対して、条例により事業系一般廃棄物減量計画書の作成・提出を義務付け、一般廃棄物の減量化の推進。	期間中継続 (平成29年度～令和3年度)	本市規則で定める特定事業者に対し、事業系一般廃棄物減量計画書及び廃棄物管理責任者選任届の作成・提出を義務付け、一般廃棄物の減量を推進した。
			大東市			多量排出者に対し、事業系一般廃棄物減量計画書を作成・提出させ、減量化を推進した。
処理施設の整備に関するもの	1	東大阪都市清掃施設組合 エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業	施設組合	可燃系ごみの焼却及び熱回収施設	令和5年度～令和12年度 (令和5年度～令和9年度)	エネルギー回収型廃棄物処理施設として、ストーカ式焼却炉(119t/日×2炉)の整備を開始した。

施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	施設組合	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業に係る測量	平成30年度 (平成30年度)	建設予定地の測量を実施した。
	31	1の計画支援	施設組合	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業に係る地質調査	平成30年度 (平成30年度)	建設予定地の地質調査を実施した。
	31	1の計画支援	施設組合	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業に係る環境影響調査	令和元年度～ 令和3年度 (令和元年度～ 令和3年度)	令和元年度に生活環境影響調査計画書を作成し、令和2～3年度に生活環境影響調査を実施した。
	31	1の計画支援	施設組合	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業に係る発注仕様書作成	令和2年度 (令和2年度)	エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備に係る発注仕様書を作成した。
その他	41	古紙・古布の全市的な回収の実施	東大阪市	集団回収を促進・拡充するため、関係団体と連携して集団回収活動を支援するとともに、奨励金交付対象品目の拡充を検討。	期間中継続 (平成29年度～ 令和3年度)	年2回程度、再生資源集団回収推進協議会を開催し、各団体における課題等を共有し、解決に向けた情報交換を行った。
			大東市	地域で実施されている古紙・古布等の集団回収を支援・育成し、回収量の拡大を図り、行政が主導的に実施する地域を拡大する。		地域の集団回収を支援・育成した。団体数、回収量は以下のとおり。 平成29年度 登録団体 124 団体 回収量 2,618 t 平成30年度 登録団体 124 団体 回収量 2,543 t 令和元年度 登録団体 123 団体 回収量 2,270 t 令和2年度 登録団体 123 団体 回収量 2,057 t 令和3年度 登録団体 124 団体 回収量 2,042 t

42	廃家電のリサイクルにかかる普及啓発	大東市	家電リサイクル法の対象品目は、広報紙、ホームページ等に処理方法を記載し、適切な処理を啓発。	期間中継続 (平成29年度～令和3年度)	家電リサイクル法の対象品目は毎年、3月に全市民に配布するごみ収集カレンダー、広報紙、ホームページ等に処理方法を記載し、適切な処理を啓発した。
43	市役所での率先したごみ減量やグリーン購入の実践	東大阪市	エコ商品の購入を市が率先することで、社会の需要を環境に配慮されたものへと転換するとともに、公共施設から発生するごみのリサイクルを推進。	期間中継続 (平成29年度～令和3年度)	グリーン購入を全庁で実施。
		大東市			「だいたいグリーン調達方針」を策定し環境に配慮した事業活動に取り組んだ。グリーン購入の調達率は以下のとおり。 ・グリーン調達総数及び率 4,323件 (91%) 市役所の生ごみ実質ゼロ」大作戦と称し、令和3年4月より市役所本庁舎で職員の弁当などの食べ残しを堆肥にすることで、生ごみを減らすとともに、まずは職員から食品ロスに対する意識付けを始める取組みをスタートした。
44	不法投棄対策	東大阪市	警察や自治会と連携し、不法投棄の多発地点を重点的にパトロール。	期間中継続 (平成29年度～令和3年度)	不法投棄禁止の啓発看板貸与、定期的な市内巡回パトロールにより不法投棄を未然に防止するとともに、不法投棄頻発箇所には簡易移動式のカメラの設置し、その抑止に努めている。
		大東市			不定期にパトロールを実施するとともに、市民の通報を受け不法投棄物を回収した。

45	災害時の廃棄物処理に関する事項	東大阪市	震災時に迅速な対応を図るため、行動マニュアル等の整備。近隣市と相互に支援できる体制の確保。	期間中継続 (平成 29 年度～ 令和 3 年度)	大阪府ごみ処理広域計画に基づき、東大阪ブロック各市等は、一般廃棄物処理における総合的な相互支援を図るとともに、災害時等におけるより広域な支援体制を確保するため、協定を結んでいる。また、令和 2 年度に、東大阪市災害廃棄物処理計画を策定した。
		大東市			令和 3 年度に災害廃棄物処理計画策定。
		施設組合			緊急事態の発生等に備え、大阪府の東大阪ブロックの近隣ごみ処理施設と、総合的な相互支援体制について協定を締結しており、今後も東大阪市及び大東市と共に、他自治体との相互応援、支援体制の整備を進めていく。また、令和 2 年度に、東大阪都市清掃施設組合災害廃棄物処理計画を策定した。

3 目標の達成状況に関する評価

(1) 排出量 (11.3%削減の目標に対して、12.5%削減の実績)

令和4年度の排出量の実績が、平成27年度比において、生活系は7.8%の削減、事業系は18.2%の削減、排出量全体では、12.5%の削減となっており、目標を達成できた。ただし、生活系総排出量、1人当たりの排出量は、現状より改善したものの目標達成には至らなかった。

(2) 再生利用量 (19.7%の目標に対して、13.8%の実績)

令和4年度の再生利用量において、総資源化量では排出量+集団回収量に対する割合19.7%の目標に対して13.8%の実績であり、目標達成には至らなかった。要因としては、集団回収量が減少していることが挙げられる。

(3) エネルギー回収量 (90,500MWhに目標に対して94,212MWhの実績)

令和4年度のエネルギー回収量において、90,500MWhに目標に対して94,212MWhの実績であり、目標を達成できた。

(4) 最終処分量 (26,382tの目標に対して29,796tの実績)

令和4年度の最終処分量において、26,382tの目標に対して29,796tの実績であり、目標を達成することができなかったが、平成27年度実績の40,083tに対して大幅に削減することができた。

(都道府県知事の所見)

(1) 排出量

排出量全体では目標を達成しているが、一人当たりの排出量は現状より改善したものの目標達成には至っていない。
新型コロナウイルス感染症の発現により、テレワークの普及等による生活環境の変化に伴いで家庭ごみが増加したであろうことを考慮すれば一定の評価はできる。

(2) 再生利用量

総資源化量は目標を下回る結果となっている。

(3) エネルギー回収量

目標を大きく達成している。

(4) 最終処分量

目標を下回る結果となっているものの、現状に対しては量、割合ともに大幅な減少の傾向がみられる。

以上から、一部項目において目標を達成できてはいないものの、新型コロナウイルス感染症に伴う生活環境の変化という事情を考慮すれば、一定の評価できるもの考えられる。

今後も排出者に対して減量化及び分別にかかる積極的な啓発など、排出量の削減と再生利用の促進への一層の取組を図られたい。